

データ出力画面

データ出力用画面

基本情報	相談内容	継続事例 経過確認画面	管理画面	相談集計 期間	相談集計 期間/担当者	データ 出力	終了
------	------	----------------	------	------------	----------------	-----------	----

Backup、業務量解析、テキストデータを用いた相談内容の分析等、業務や研究で使用するデータの出力用に準備した。主にBackupを目的とした全データ出力画面、業務解析や研究などで期間限定でのデータ抽出ができる画面の2つのデータ出力を準備した。

全ての月日のデータ出力：Back up用	指定した月日や期間のデータ出力																		
<p><注意点></p> <ul style="list-style-type: none">●現在、このデータベースにあるデータすべてをエクセルファイルで出力します。各画面ごとの出力と全画面の出力があります。●下記ボタンの中から、出力したい画面のボタンを押してください。 <table border="1"><tr><td>相談基本情報</td><td>全データ出力</td></tr><tr><td>相談内容記録</td><td>全データ出力</td></tr><tr><td>基本情報・相談内容</td><td>全データ出力</td></tr></table>	相談基本情報	全データ出力	相談内容記録	全データ出力	基本情報・相談内容	全データ出力	<p><手順>日付けを絞り込んで指定します。</p> <p>①【指定開始月日】と【指定終了月日】にデータを出力する月日を入れてください。</p> <p>②3つあるボタンから、出力するデータを選んでボタンをクリックしてください。</p> <table border="1"><tr><td>出力開始月日</td><td>2011/07/01</td><td><input type="text"/></td></tr><tr><td>出力終了月日</td><td>2011/07/20</td><td><input type="text"/></td></tr></table> <table border="1"><tr><td>相談基本情報</td><td>絞込データ出力</td></tr><tr><td>相談内容記録</td><td>絞込データ出力</td></tr><tr><td>基本情報・相談内容</td><td>絞込データ出力</td></tr></table> <p><注意点></p> <ul style="list-style-type: none">●1日分を出したいときは【指定開始月日】と【指定終了月日】に同じ日付を入力してください。	出力開始月日	2011/07/01	<input type="text"/>	出力終了月日	2011/07/20	<input type="text"/>	相談基本情報	絞込データ出力	相談内容記録	絞込データ出力	基本情報・相談内容	絞込データ出力
相談基本情報	全データ出力																		
相談内容記録	全データ出力																		
基本情報・相談内容	全データ出力																		
出力開始月日	2011/07/01	<input type="text"/>																	
出力終了月日	2011/07/20	<input type="text"/>																	
相談基本情報	絞込データ出力																		
相談内容記録	絞込データ出力																		
基本情報・相談内容	絞込データ出力																		

相談記録ツール (sodanappli) 簡易マニュアル

1. 使用前の準備

- (1) ダウンロードした（あるいは、CDに入っている）ファイル（マニュアルのPDF）やフォルダを使用するパソコンに、ドラッグ・コピーする。

※最低限コピーするもの

- ◆sodanappli フォルダ
- ◆マニュアル等のファイル（PDF、テキストファイル）
- ◆Backup フォルダ

注)【FMPPro用ファイル_付録】フォルダに入っているファイルは、ファイルメーカーのソフトウェアを持っていて、カスタマイズを考えている方専用の付録で、通常は不要。

- (2) デスクトップにショートカット作成

作成するショートカット

sodanappli フォルダ内の 【sodanappli.exe】

このランタイムアプリを右クリック 送る→デスクトップ(ショートカット作成)

わかりやすい名前に変更

名前変更例) sodanappli→相談記録起動

- (3) 1-(2)で作成したショートカット 【sodanappli】 をダブルクリックして起動

- (4) ログイン画面で

①原則的には、まず管理者でログインします。

アカウント名 : admin (最初はコンピュータ名など入っているので削除して admin と入力)

パスワード : admin

とし、【OK】 ボタンを押す。(admin は管理者で完全アクセス権あり)

パスワード変更画面が出るので

旧パスワード : admin

新パスワード : 自分で好きにパスワード設定

新パスワード確認 : 新パスワードで入力したものをもう一度入力 し、【OK】 ボタンを押す。

②ちょっとみてみたり、触ってみたりしたいとき

ログイン画面のラジオボタンで、<ゲストアカウント>を選択。

すぐ記録ツールの画面になる。ただ、制限があり、閲覧のみ可能。

- (5) 最初に【sodanappli】を立ち上げたときに、「管理画面」をクリックし、相談担当者のアカウント割り当て、値一覧（選択プルダウンメニュー）の相談担当者や施設独自の分類法、居住地域（詳細）の登録や編集を行う。それぞれ枠右の矢印でプルダウンメニューを表示し、<編集>を選択。不要なものは削除して必要な名称を入力する。

- (6) 管理者以外でログインする際は、管理者に割り当てられたアカウント名 (sodan1～sodan5) でログインする (初期パスワードは、空白のまま)。パスワード変更画面が表示されたら、管理者から付与されたパスワードを新しいパスワードに入れる。

2. 使用方法

- (1) ショートカット【sodanappli】から起動する。
- (2) 「相談基本情報」画面で、【新規入力】ボタンを押す（1枚新しいシートができる 相談者1人1回で1シート使用）
- (3) 1シートで、画面は【相談基本情報】と【相談内容】の2つの画面にわかれている。それぞれ画面上にあるタブで切り替えて入力する（ただし、【新規入力】は1相談につき、「相談基本情報」画面で1度押せばよい）。
- (4) 基本は、【相談基本情報】 → 【相談内容】の順で入力する。
- (5) 記録の項目は汎用性を持たせるためにいろいろな項目を準備しているが、すべて入力する必要はなく、施設で決めた項目だけ使用してかまわない。
- (6) 相談記録を印刷するときは、<印刷>ボタンを押すと、基本情報と相談内容をまとめてA4 1枚横に配置した印刷ができる（印刷画面は別途準備したもの）。プリンタによっては、余白がぎりぎり2ページ目にかかってしまうことがあり、その場合は、プレビュー画面でみて縮小設定し調整して印刷。
- (7) 検索方法は、詳細マニュアル を参照。
- (8) 相談集計は、期間だけ指定して表示する【相談集計 期間】、期間／担当者のどちらか一方、あるいは両方を指定して表示する【相談集計 期間/担当者】の2種類ある。また、【管理画面】では、「管理日報作成」という枠があり、日報を出力する日を指定して、<日報画面へ>ボタンを押すと、日報画面に切り替わる。集計画面はそれぞれ<印刷>ボタンを押すと、A4 2枚横に配置した印刷ができる（印刷画面は別途準備したもの）。プリンタは、使用するプリンタを選択する。
- (9) 継続事例の経過をみたいときは、【継続事例経過確認画面】を開き、
 - ① <検索画面へ>ボタンを押す
 - ② ID や患者氏名かな、相談者氏名かななど検索したい枠に入力する。
 - ③ <検索実行>ボタンを押すと、相談内容の主な項目を経時的に確認できる。
- (10) 詳細画面とリスト表示は、現在開いている画面のタブを押せば切り替わる。

3. その他注意

- (1) 電子データ、ファイルはこわれやすいものなので、必ずバックアップを心がける。
- (2) バックアップ、あるいは何人かの相談員で使用し集積して再配布する際は、いったんExcel か csv ファイルにエクスポートする。そのデータを管理用に別途準備したランタイムにインポートし、集積する。データ集積後再配布するときは、管理用ランタイムからデータを再びExcel か csv ファイルでエクスポートし、各自の端末にインポートする。
- (3) その他詳細は、詳細マニュアル参照（しおり作成しています）

(資料2)

平成 22 年度厚生労働科学研究費補助金 (がん臨床研究事業)
相談支援センターの機能の強化・充実と地域における
相談支援センターのあり方に関する研究
(研究代表者：高山 智子)

分担研究報告書

相談支援ツールの開発と評価

研究分担者 石川 陸弓 静岡県立静岡がんセンター 患者・家族支援研究部 研究部長

研究要旨：がん診療連携拠点病院に設置された相談支援センターの業務内容は多岐にわたるが、まだ設置されて経過が浅く、システム、運用形態、記録等、試行錯誤しながら業務を実施している施設も多い。

そこで、本研究では、相談支援センターにおける業務の効率化と質の維持をサポートするツールについて検討する。本年度は、昨年度作成した相談時に利用する記録ツールの配布と評価、情報集積や活用のための相談 FAQ ツール作成を実施した。記録ツールの評価に関しては、10 名の相談員にツールを試用後、アンケート調査を実施した。ツールの有用性に関しては 9 名がプラス評価だったが、使いやすさに関しては、繰り返し入力の不便さ、分類法の煩雑さ等から 5 名が少し使いにくい、使いにくいのマイナス評価であり、直感的に操作し利用出来るツール、項目数全体のブラッシュアップ等によりさらなる改良を加えることにした。

相談 FAQ ツールは、市販のデータベースソフト FileMaker Pro11.0 Advanced (ファイルメーカー社) を使ってデータベースを設計し、そのうえで、市販のデータベースソフトウェアがなくても動くランタイムソリューションとして、データベースファイルをバインドし、ベータ版として、フリーソフトウェアとして希望者に配布できるように準備した。

A. 研究目的

がん診療連携拠点病院に設置された相談支援センターの業務内容は、多岐にわたり、患者や家族(周囲の人々)、地域住民、地域医療機関関係者に対して、相談対応、情報提供や調整を行っている。この業務を対象別にみると、患者や家族、地域住民を対象とした個別相談と情報提供、地域の医療機関・医療者を対象とした情報の収集と提供の大きく 2 つにわかれる。そして、その両

者に共通したキーワードの一つに「情報」がある。

相談支援センターでは、毎日多くの情報が入り、また出て行く環境にある。多岐にわたる業務を効率的にこなし、さらに、相談支援センターとしての質向上のためには、情報収集と集積、分析、情報の共有化が重要となる。

静岡がんセンターでは、2002 年の開院時から、よろず相談部門を設け、院内外を問

わず患者・家族、地域住民からのがんに関連した相談に対応する総合相談窓口として活用しており、年間 12,000 件余りの相談に対応している。これまでに、このよろず相談の業務内容と実績、情報の取り扱い等を整理し、マニュアル・資料集として拠点病院を中心とした他医療機関に提供してきた。あわせて、電子データとして保存しているよろず相談記録の相談内容を整理し分析を試みた。本研究では、それらの実践結果に基づき、相談支援センターにおける業務の効率化と質の維持をサポートするツール（記録ツール、相談 FAQ ツール）の開発をめざしている。

B. 研究方法

厚生労働科学研究費補助金 がん臨床研究事業「相談内容の分析等を踏まえた相談支援センターのあり方に関する研究」に研究分担として参加したなかで、平成 20 年度に情報の共有化、情報集積のための実用的情報ツールとして、既存のデータベースソフト FileMaker Pro9.0 Advanced を用いて「相談記録ツール」と「相談 FAQ ツール」の 2 つのデータベースの検討を行った。昨年度は、このうち「相談記録ツール」を実用に向けてさらに検討・改良を加え、本年度相談員に試用してもらい、ツールの操作性、内容、集計機能の必要性等アンケート調査を実施した。

また、「相談 FAQ ツール」に関しても検討・改良を加え、相談記録ツールと同様、汎用性・効率性・費用の 3 面から検討し、市販のデータベースソフト FileMaker Pro11.0 Advanced（ファイルメーカー社）を使って、相談 FAQ ツールを設計した。そのうえで、市販のデータベースソフトウェアがなくても動くランタイムソリューション

ンとして、データベースファイルをバインドした。ベータ版は、フリーソフトウェアとして希望者に配布できるよう準備した。

（倫理面への配慮）

情報の共有化、情報集積のための実用的情報ツールであるデータベース設計を行う作業を実施しており、特に個人情報を含むデータは取り扱っていない。

相談記録ツール試用者へのアンケート調査は、試用してもらった相談員に、研究趣旨等文書で説明し、アンケートの記入・回収により同意とした。なお、調査用紙には個人情報は含まれていない。

C. 結果

1. 相談記録ツール配布状況とアンケート調査結果

(1) 相談記録ツールは、一昨年までの検討段階を含めて、これまでに 33 医療機関の試用希望者に配布し、意見や要望をふまえて変更を行った。具体的には、コードの変更、対応方法の種類のフィールド調整、また年 1 回実施されていた相談支援センターに関する調査の相談記入シートで用いられていた小項目分類の一部変更に従い項目の一部変更、基本情報・相談内容・相談評価・相談内容_FC（Focus Carting）形式の 4 画面それぞれに印刷用画面を別途作成、バックアップ用に基本情報・相談内容・相談評価をまとめてバックアップできるボタンを配置、さらに相談内容記録に関して、相談内容の分析ツールとしても使用できるように、相談内容をニーズの背景、相談内容、対応内容を種類（語りの促進・傾聴、情報提供、その他の対応：編集可能）ごとに記載できるようにした 3 枠、相談者の反応にわけた相談内容記録形式を加え、利用者が 3 種類

の記録形式で使いやすい形式を選択して記録できるようにした。

(2) 10名の相談員に相談記録ツールを試用してもらい、試用後アンケート調査を実施した。調査の結果、ツールの有用性に関しては、9名がプラス評価であるが、ツールの使いやすさに関しては、5名が、少し使いにくい、使いにくいのマイナス評価であった。その理由として、担当者情報など繰り返し入力する不便さ、相談支援センターに関する調査で使用される小項目を用いた分類法は日々の相談記録用としては項目数が多く煩雑、全体入力項目が多い、日付や相談時間などの自動入力化希望などがみられた。

2. 相談 FAQ ツールの作成

(1) 経緯

静岡がんセンターのよろず相談では、2002年9月の開院時から年間1万件余りの施設内外からのがんに関する相談に対応してきた。そのなかで、情報の共有と迅速に情報提供できるように「よくある質問」等をワープロでまとめ「電話相談 Q&A マニュアル」を作成、印刷して各相談員に配布し必要時利用していた。また、他施設からの希望に対応するために、他施設でも使用できるような項目を Excel でまとめたテンプレートを作成し、希望者に配布していた。しかし、情報の種類や数が多くなってくると、紙媒体によるツールでは、ほしい情報を探すためにも時間がかかり不便であった。そこで、データベースの相談 FAQ ツール作成にとりかかった。

(2) データベース構成

「電話相談 Q&A マニュアル」で用いた項目を基本として、5つのデータベースを

作成し、画面の切替で移動できるようにした。5つのデータベースは、自施設の情報、自施設の医療費概算情報、医療・生活情報、地域社会資源情報、他施設情報で構成されている。

① 施設情報画面

受診やセカンドオピニオンの手続き、診療外来の種類、対応疾患、実施している治療、設備などのデータを入力する。デフォルトで、静岡がんセンターで Q&A 用に作成していた内容の項目を情報収集・入力時の参考として記載した。

② 施設の医療費概算情報画面

手術、薬物療法などの治療費用等の事例を集積、あるいは医事課に確認し、自施設の医療費概算を入力できるように配置した。

③ 療・生活情報画面

医療情報としては、がんの疾患・検査・治療・副作用の情報や対処などの情報を入力できるように項目を配置した。生活情報では、経済・就労などの社会・生活面やピアサポートなど、直接医療にはかかわらない情報を入力する項目を配置した。

2階層の分類分けが可能となるように分類ラベルを準備し、ラベルは利用者が編集できるように設定した。情報の更新日や情報源の項目も配置した。

④ 会資源情報画面

生活支援サービス（子どもの一時預かり、被介護者の一時預かり、家事サービス、配食サービスなど）を中心に情報を整理できるようにした。項目では、資源の種類、資源名称、資源の HP アドレス、都道府県、市区町村名、連絡先と連絡先担当者名、資源利用可能者、資源利用手続き、資源利用費用などが入力でき、さらにフリー入力で使えるようにコメント項目を用意した。

⑤ 施設情報画面

医療機関・訪問看護ステーションなど、他施設の情報を入手時、入力することで情報の集積が可能となるようにした。具体的には、情報 Keyword、都道府県・市区町村名、施設名称、施設 HP アドレス、施設種類、連絡担当者と連絡先、条件情報（セカンドオピニオン外来、土曜夜間診療、先進医療などチェックができるようにした）。また医療・生活情報画面と同様、情報源の項目も配置した。

全体としては、情報入手状況が明確になるように、作成者・更新者、作成月日・更新月日を配置した。また、インターネットで最新情報も確認できるように、URL 欄を設け、ショートカットメニューから「開く」を選択すると、web ブラウザが起動し、指定した URL ページが表示されるようにした。地域の社会資源、他施設情報に関しては、公式な情報とは別に「ピア情報」という欄を設けた。

(3)情報共有

ランタイムアプリケーションは、ネットワーク共有はできず、単体使用に限られるが、入力されたデータは、エクセルなどにエクスポートできる。部署単位に各自のランタイムとは別にランタイムの全体用データベースを1つ準備すれば、全体のデータベースとしての保管、再配布が可能となる。

(4)効率性・汎用性

入力作業の効率化の一つとしてプルダウン選択式の項目をできるだけ導入した。また、汎用性を持たせるために、プルダウンメニューは編集ができるようにし、施設独自の分類項目名などを継続して使えるようにした。

D. 考察

(1)相談記録ツール

これまで汎用性を持たせるため、相談内容の分類方法は複数準備、入力項目は詳細項目を含めて準備し、利用者が必要な項目を選択して使用する設計としていた。しかし、ツールを利用するとき、事前にマニュアルを熟読して使用する人はなく、項目の選択利用という仕様は、利用者を混乱させ、かえって使いにくくさせていた。また、できるだけ自動入力化を図る必要があった。これらの評価をふまえると、直感的に操作し利用出来るツール、項目数全体のブラッシュアップによるさらなる改良が必要であると考えられる。

(2)相談 FAQ ツール

紙媒体を用いた FAQ は、情報量が増えてくると情報の検索に時間がかかり、さらに情報の修正や追加、印刷、再配布に手間がかかる。一方、電子媒体を用いた FAQ は、検索やデータの集積には便利であるが、オリジナルのデータベース構築には、特定の知識や技術を要し、市販のデータベースソフトウェアを導入する場合は、初期費用がかかる。そこで、情報の集積を容易にし、汎用性のあるデータベースとして、FileMaker Pro でデータベース設計後、ランタイムアプリケーションとしてバインドし、フリーソフトウェアとしての配布を可能にした。

ランタイムアプリケーションはスタンドアロンでのみの動作のため、情報の共有化という点では、定期的なエクスポート、インポートの作業を行なわなければならないという欠点を有している。しかし、電子データでデータベース化することで、検索、データ抽出や更新作業が容易となり、効率

よく迅速に情報を確認・提供することが可能となる。さらに、情報を集積して共有することは、一定レベルの相談対応の質の維持にも寄与し、相談員の実践向上に役立つと考える。

E. 結論

相談支援センターにおける業務の効率化と質の維持をサポートする実用的なツールとして、相談記録ツールと相談 FAQ ツールを作成した。ツールの媒体としては、検索やソートも行え、修正更新も容易であることからデータベースソフトを用いた電子媒体を利用することとした。さらに、コスト面を考慮し、ランタイムソリューションとして、作成したツールをバインドし、フリーソフトウェアとして希望者への配布を可能にした。

これらのツールを利用することで、相談業務における記録時間の短縮化、情報の収集・集積による情報提供の効率化、情報の共有化、検索の容易性、収集・蓄積されたデータの後利用等が可能になった。しかし、相談記録ツールに関しては、使いやすさに関して問題を残していた。今後相談 FAQ ツールについても試用版の利用者の評価を得て、改善・改良を加え、両ツールとも直感的に操作でき、使いやすいソフトウェアをめざし、検討をすすめたい。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表

雑誌

①石川睦弓. がん患者・家族の抱える不安や悩み. 外来看護 16(3):067-079. 日総研. 2011.

2. 学会発表

①石川睦弓、北村有子. 相談 FAQ データベースの開発—業務の効率化を支援するツール—. 第 25 回日本がん看護学会学術集会講演集. Vol25. 339. 2011

H. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む。）

1. 特許の取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

相談支援ツールの紹介

相談業務の効率化や情報共有に役立つ2つの支援ツールを作成しました。

相談記録ツール 相談記録データベース

- 相談基本情報
- 相談内容の記録
(2種類の記録様式)
- 調査票用集計票
- 相談集計

相談FAQツール 相談FAQデータベース

- 自院の情報
- 自院の医療費概算
- 医療・生活情報
- 社会資源情報
- 他施設情報

汎用性のある相談支援ツールを作成しています。(開発・試作段階)
ツール自体がソフトウェアとして動くので、
データベースソフトなしで、利用できます。
データをエクセルにエクスポートすることも可能です。

ご興味をおもちの方がいらっしゃいましたら、ご連絡ください。
ツールへのご意見、評価もよろしくお願いいたします。

連絡先

石川 睦弓

静岡がんセンター 研究所

患者・家族支援研究部

kanjakazoku@scchr.jp

※本ツールは、厚生労働省科学研究費補助金(がん臨床研究事業「相談支援センターの機能の強化・充実と地域における相談支援センターのあり方に関する研究」の分担研究)で作成しています。

相談記録ツール

相談記録をデータベース化することで、情報を集積・共有でき、検索機能や簡単な集計なども行うことができます。

相談基本情報入力画面

- 相談受付日等の基本情報と相談者の属性や背景となる情報の画面です。
- 入力の手間を省くため、できるだけプルダウンメニューで選択できるようにしています。
- プルダウンメニューで該当する項目を選択すると、自動的に隣の枠にコード入力されます。
- 受付時間と終了時間を入れると、自動的に相談にかかった時間が表示されます。

2009年11月に一部改良

<改良点>

1. 印刷画面のレイアウトを準備
文字サイズ10ポイントで、相談基本情報、相談内容（分類と内容の2ページ）それぞれを印刷できるようにしました。
2. バックアップ
全データをエクスポートできるボタンを[受付]画面につくりました。

相談内容の記録画面

2つの記録様式

- 相談内容・対応内容の記録画面です。
- 相談内容の分類は、下記の3つの中から選択できます。
 - (1) がん対策情報センターが提供する相談記入シートの分類
(当てはまる項目は「1」にチェック)
 - (2) 静岡分類 (大分類)
 - (3) オリジナル分類 (最初にプルダウン項目にオリジナルの分類ラベルを入力すれば、次回から選択式での使用が可能です)
- 相談内容・対応内容の記録様式は、2種類のうち、どちらかを使用します。
 - (1) プレーンな様式 : 相談内容と対応内容の枠だけで自由に記載できます。
 - (2) フォーカス・チャータリング様式 : フォーカス・データ・アクション・レスポンスに分かれています。あとで、質的に分析したり、評価するときなど便利です。

相談FAQツールの紹介

相談業務の効率化や情報共有に役立つ相談FAQツールを作成しました。

相談FAQツール 相談FAQデータベース

- 自施設の情報
- 自施設の医療費概算
- 医療・生活情報
- 社会資源情報
- 他施設情報

汎用性のある相談支援ツールを作成しています。(開発・試作段階)
ツール自体がソフトウェアとして動くので、
データベースソフトウェアなしで、利用できます。
データをエクセルにエクスポートすることも可能です。

ご興味をおもちの方がいらっしゃいましたら、ご連絡ください。
開発途中ですので、アンケートへのご協力をお願いいたします。

連絡先

石川 睦弓
静岡がんセンター 研究所
患者・家族支援研究部
TEL: 055-989-5222 内線5421
kanjakazoku@scchr.jp

※本ツールは、厚生労働省科学研究費補助金(がん臨床研究事業「相談支援センターの機能の強化・充実と地域における相談支援センターのあり方に関する研究」の分担研究)の研究費で作成しています。

「自院の情報」、「自院の医療費概算」、「医療・生活情報」、「社会資源」、「施設情報」の5つの情報データベースにわかれています。様々な情報を集積・共有でき、情報検索の効率化を図ることが可能です。

自施設の情報画面

新規入力 | ログイン | 検索画面へ | 検索実行 | 並び替え | 印刷設定 | ヘルプ | ヘルプを開く

自施設の情報 (無効) 無効

自施設の情報 リストへ | 自施設 医療費概算 | 医療・生活情報 | 地域の社会資源 | 他施設情報

作成者 作成月日 (年) (月) (日)

更新者 更新月日 (年) (月) (日)

大項目

中項目

タイトル

内容

対応診療科
 手続き
 料金
 必要書類
 その他

受診、セカンドオピニオンの手続き、診療外来の種類、対応疾患、設備などの自施設に関する情報を入力します。デフォルトで、静岡がんセンターでQ&A用に作成している内容の項目だけ参考に入れてあります。

全ページ表示 | 検索画面へ | 検索実行 | 該当ページを176に222ページへ | 全ページを176に222ページへ

自施設の情報

自施設の情報 詳細へ	自施設医療費概算リスト	医療・生活情報 リスト	地域の社会資源 リスト	他施設情報 リスト			
作成月日	更新月日	大項目	中項目	タイトル	内容	参考となるHP...	作成者
2008年06月03日		外来受診	セカンドオピニオン	手続き	◎対応診療科		デフォルト
2008年06月03日		外来受診	セカンドオピニオン	家族セカンドオピニオン	◎実施の有無		デフォルト
2008年06月03日		外来受診	受診方法	手続き	◎予約の有無		デフォルト
2008年06月03日		外来受診	初診時特定療養費	必要かどうかと金額	◎初診時特定療養費の有無		デフォルト
2008年06月03日		外来受診	がんのこころのケア	専門医、専門外来等	◎専門医、専門診療科の有無		デフォルト
2008年06月03日		外来受診	禁煙外来	手続き・料金など	◎実施の有無		デフォルト
2008年06月03日		入院・退院・転院	入院	入院患者の衣類のクリーニング	◎実施の有無		デフォルト
2008年06月04日		入院・退院・転院	転院	転院手続き	◎転院を希望する場合の手続きにつ		デフォルト

自施設の医療費概算画面

新規入力 | ログイン | 検索画面へ | 検索実行 | 並び替え | 印刷設定 | ヘルプ | ヘルプを開く

自施設の医療費概算

自施設の情報 | 自施設医療費概算リストへ | 医療・生活情報 | 地域の社会資源 | 他施設情報

作成者 作成月日 (年) (月) (日)

更新者 更新月日 (年) (月) (日)

病名かな

病気の種類

治療・検査の種類

保険負担割合

概算

医療費コメント

医療費は、患者さん、ご家族とも気になるところです。事例をそのたびに入力、あるいは医事課に確認し、自施設の医療費概算を集積します。

全ページ表示 | 検索画面へ | 検索実行 | 該当ページを176に222ページへ | 全ページを176に222ページへ

自施設の医療費概算

自院の情報 リスト	自院医療費概算詳細へ	医療・生活情報 リスト	地域の社会資源 リスト	他施設情報 リスト					
作成月日	更新月日	病気の種類	治療・検査の種類	保険負担割合	概算	病名かな	医療費コメント	作成者	更新者

医療・生活情報画面

医療・生活情報

自院の情報	自院医療費 概要	医療・生活情報 921へ	地域の社会資源 921へ	他施設情報
作成者 <input type="text" value="デフォルト"/> 作成日 <input text"="" type="text" value="2014年04月03日(水) 参考となる資料 <input type="/>	更新者 <input type="text"/> 更新日 <input type="text"/>	情報源 <input type="text" value="インターネット"/> 情報源詳細 <input type="text" value="日本医学生会
内容"/>	情報 <input type="text" value="PET検査とは、"/>	コメント <input type="text"/>
大項目 <input type="text" value="検査"/> 中項目 <input type="text" value="PET検査"/>	タイトル <input type="text" value="PET検査とは"/>	コメント <input type="text" value="がんの場合、「腫瘍の形を見る」画像診断とは違い、「腫瘍の新陳代謝、"/>	コメント <input type="text" value="ただし、「すべてのがんが早期発見できる」、「100%の精度ではない。"/>	コメント <input type="text" value="PET検査が通しているものと通していないものがある。たとえば、くすりが腎臓から尿に排泄されるので、腎臓とかわくわからない。肝臓のがんや胃がん、前立腺がんは検査精度が、PETより有用な場合も多い。"/>
HIPアドレス1 <input type="text" value="http://www.jcma.org/"/>	HIP名称と3011 <input type="text" value="日本医学生会"/>	コメント <input type="text" value="PETは、悪性腫瘍の性質（悪性度）診断や転移・再発の経過に有用性が高い。観点もある"/>		
HIPアドレス2 <input type="text" value="http://www.jcma.org/gata/gam/"/>	HIP名称と3012 <input type="text" value="日本医学生会"/>			
冊子名 <input type="text" value="PET検査 GMA"/> をPDFでダウンロードできる	上記日本医学生会のTOP>役員情報>医学生会>PET検査 GMA			

<医療情報>

がんの疾患・検査・治療・副作用の情報や対処などの情報を入力します。

<生活情報>

経済・就労などの社会・生活面や心理面など、直接医療には関わらない情報などを入力します。

○ 分類分けしてあり、リスト表示で

探しやすいとすると共に、情報の検索がしやすくなっています。

○ 情報の更新日や情報源が入力できます。

社会資源画面

社会資源情報

自院の情報	自院医療費 概要	医療・生活情報 921へ	地域の社会資源 921へ	他施設情報
作成者 <input type="text" value="デフォルト"/> 作成日 <input text"="" type="text" value="2014年04月03日(水) 参考となる資料 <input type="/>	更新者 <input type="text"/> 更新日 <input type="text"/>	資源種別 <input type="text" value="NPO・NPP・NVC等の非営利セクター"/>	資源名 <input type="text"/>	コメント <input type="text" value="厚手の蓋がはきかなくて、言葉が聞き取りにくいおやつが飲み物は持ち込み、乳児の場合は、持ち込まれたミルクを指示通りに与える（職員は全体的）"/>
資源アドレス <input type="text"/>	都道府県 <input type="text" value="静岡県"/> 市区町村 <input type="text" value="〇〇市"/>	住所 <input type="text" value="〇〇町〇〇-〇〇"/>	連絡先担当者 <input type="text" value="〇〇〇"/>	サービス提供の種類 <input type="text" value="子どもの一部預かり"/>
資源利用可能者 <input type="text" value="生後0ヶ月から小学校就学前の子供 居住地域や要件は問わない"/>	資源利用手続 <input type="text" value="予約制（事前）に電話にて予約する 休館日：水曜日、年末年始（12/31～1/5） 配食の場合など、飛び込みの利用もある"/>	資源利用費用 <input type="text" value="10：00～17：00まで 10時以降に依頼したい場合は、要相談"/>		ピア情報 <input type="text"/>

地域の行政機関やNPO法人が実施している
子育て支援、
家事サポート、
送迎・配食サービスなどを
入力します。

他施設情報画面

他施設情報

自院の情報	自院医療費 概要	医療・生活情報 921へ	地域の社会資源 921へ	他施設情報
作成者 <input type="text"/> 作成日 <input type="text"/>	更新者 <input type="text"/> 更新日 <input type="text"/>	情報源 <input type="text"/>	情報源詳細 <input type="text"/>	その他コメント <input type="text"/>
都道府県 <input type="text"/>	市区町村 <input type="text"/>	施設名 <input type="text"/>	施設名称 <input type="text"/>	施設種別 <input type="text"/>
施設種別 <input type="text"/>	連絡担当者 <input type="text"/>	連絡先TEL <input type="text"/>	連絡先FAX <input type="text"/>	連絡先mail <input type="text"/>
条件情報 <input type="text"/>				ピア情報 <input type="text" value="「ピア情報」は、相談員としての「お母さん」が提供できます。"/>

医療機関・訪問看護ステーションなど、他施設の情報を入手時、入力することで情報の集積が可能です。

(資料3)

平成 21 年度厚生労働科学研究費補助金 (がん臨床研究事業)
相談支援センターの機能の強化・充実と地域における
相談支援センターのあり方に関する研究
(研究代表者：高山 智子)

分担研究報告書

相談支援ツールの開発と評価

研究分担者 石川睦弓 静岡県立静岡がんセンター 研究部長

研究要旨：がん診療連携拠点病院に設置された相談支援センターの業務内容は多岐にわたるが、まだ設置されて経過が浅く、システム、運用形態、記録等、試行錯誤しながら業務を実施している施設も多い。

そこで、本研究では、相談支援センターにおける業務の効率化と質の維持をサポートするツールについて検討する。本年度は、患者・家族を対象とした相談時に利用する記録ツール作成を試みた。市販のデータベースソフト FileMaker Pro10.0 Advanced (ファイルメーカー社) を使って、データベースを設計し、そのうえで、市販のデータベースソフトウェアがなくても動くランタイムソリューションとして、データベースファイルをバインドした。さらに、データベースに改良を加えベータ版が完成した。ベータ版は、フリーソフトウェアとして希望者に配布した。

A. 研究目的

がん診療連携拠点病院に設置された相談支援センターの業務内容は、多岐にわたり、患者や家族(周囲の人々)、地域住民、地域医療機関関係者に対して、相談対応、情報提供や調整を行っている。この業務を対象別にみると、患者や家族、地域住民を対象とした個別相談、地域の医療機関・医療者を対象とした連携・調整の大きく2つに分かれる。そして、その両者に共通したキーワードの一つに「情報」がある。

相談支援センターでは、毎日多くの情報

が入り、また出て行く環境にある。多岐にわたる業務を効率的にこなす、さらに、相談支援センターとしての質向上のためには、情報の収集と集積、分析、情報の共有化が重要となる。

静岡がんセンターでは、2002年の開院時から、よろず相談部門を設け、院内外を問わず患者・家族、地域住民からのがんに関連した相談に対応する総合相談窓口として活用しており、年間12,000件余りの相談に対応している。これまでに、このよろず相談をモデルとして、業務内容と実績、情報

の取り扱い等を整理し分析を行ってきた。あわせて、電子データとして保存しているよろず相談記録の分析を試みた。本研究では、その結果に基づき、相談支援ツールの開発をめざしている。

昨年度は、厚生労働科学研究費補助金（がん臨床研究事業）「相談内容の分析等を踏まえた相談支援センターのあり方に関する研究」に研究分担として参加したなかで、情報の共有化、情報集積のための実用的情報ツールとして、既存のデータベースソフト FileMaker Pro9.0 Advanced を用いて「相談記録ツール」と「相談 FAQ ツール」の2つのデータベースの検討を行った。本年度は、このうち、「相談記録ツール」の実用に向けてさらに検討・改良を加えた。

B. 研究方法

汎用性・効率性・費用の3面から検討し、市販のデータベースソフト FileMaker Pro10.0 Advanced（ファイルメーカー社）を使って、昨年度設計したデータベースに改良を加えた相談記録ツールを設計した。そのうえで、市販のデータベースソフトウェアがなくても動くランタイムソリューションとして、データベースファイルをバインドした。ベータ版は、フリーソフトウェアとして希望者に配布した。今後、利用者の評価等をふまえて改善していく予定である。

（倫理面への配慮）

本年度は、情報の共有化、情報集積のため

の実用的情報ツールであるデータベース設計を行う作業を実施しており、特に個人情報を含むデータは取り扱っていない。

C. 結果

1. フィールド定義（項目）

厚生労働省が実施したがん診療連携拠点病院の相談支援センター調査で用いられた相談記入シートの項目に準拠した。

相談内容の分類に関しては、調査項目で使用されている分類以外に、静岡がんセンター他で用いられている『静岡分類』（<http://cancerqa.scchr.jp/>）、各施設や相談窓口で以前から使用していた分類を継続使用できるように編集可能な分類項目、の3種類を準備し、利用者がどちらかの記録画面を選択できるようにした。

2. レイアウト画面

レイアウト画面は、受付、相談基本情報、相談内容記録、相談評価、調査票用集計票、相談集計を準備し、今回の改良で相談内容記録に関しては、分析等に用いることも考慮して、キーワードの入力欄を追加、さらに別バージョンとしてフォーカスチャータリング形式の記録画面も準備した。

①受付画面（相談と記録の管理画面）

受付日

相談対応者の職種等（調査項目に準拠）

記録入力状況

②相談基本情報

相談者と患者の属性等基本情報

相談時間（開始時間・終了時間・相談時間）

③相談内容記録画面（2種類）

左画面は、2種類のレイアウトとも主に相談内容の分類項目で、3種類の分類方法から選択可能（相談支援センター調査：相談記入シート準拠、静岡分類、オリジナル分類項目）

右画面は、レイアウト1は、タイトル、キーワード、相談内容、対応内容、レイアウト2はフォーカスチャータリング形式

（Focus, Data, Action, Response）の4つの枠でのレイアウトとなる。

④相談評価

厚生労働省が実施したがん診療連携拠点病院の相談支援センター調査で用いられた相談記入シートの評価項目内容

⑤調査票用集計票

相談支援センター調査の相談記入シートにある項目だけを抽出しリスト化した画面。調査期間のデータだけ絞り込みエクセルにエクスポートすることも可能である。

⑥相談集計

相談業務の全体の傾向分析、業務量の評価などに役立つ目的で、対応方法、電話状況、相談者性別、居住都道府県などを期間を入力して集計し、プレビューできる画面

3. 情報共有

ランタイムアプリケーションは、ネットワーク共有はできず、単体使用に限られるが、入力されたデータは、エクセルなどにエクスポートできる。部署単位に各自のラ

ンタイムとは別にランタイムの全体用データベースを1つ準備すれば、全体のデータベースとしての保管、再配布が可能となる。

4. 効率性・汎用性

入力作業の効率化の一つとしてプルダウン選択式の項目を多くし、コードの自動入力も付加した。また、汎用性を持たせるために、プルダウンメニューは編集ができるようにし、施設独自の分類項目名などを継続して使えるようにした。

6. プライバシーの保護、セキュリティ

調査項目にはないが、基本情報に継続事例などで検索しやすいように「相談者氏名かな」と「相談者 TEL」の項目を設けた。この項目を使用する場合は、特にプライバシー保護・セキュリティに十分注意する必要があるため、マニュアルで注意喚起するとともに、パスワード設定を推奨した。

7. 検討段階からの改良点

プルダウンメニューに編集機能をつけることで、各施設で相談担当者ごとのデータ抽出や並べ替えを容易にし、さらに施設独自の分類入力などが簡便に効率的に実施できるようにした。

直感的に操作しやすいように、レイアウト、ボタンデザインなどを変更した。

相談内容・対応内容記録は、長くなっても対応できるように枠を広げた。

相談内容の相談支援センター調査：相談記

入シート準拠の小項目は、これまでは複数チェックできる「チェックボックス」形式としていたが、小項目ごとの集計を行えるように、小項目1つ1つのフィールド定義を作成し、ラジオボタンでデフォルトを0として、該当するところだけ1に変更できるようにした。

印刷希望があったため、印刷用の画面を別途作成し、ページ内におさまるようにした。

8. ベータ版配布

市販のデータベースソフトウェアがなくとも動くランタイムソリューションとして、データベースファイルをバインドした。ベータ版は、フリーソフトウェアとして、電子マニュアル（A42枚の簡易マニュアルと詳細なマニュアルの2種類）とともに希望者に配布した。なお、FileMaker Proを持っている希望者はカスタマイズも可能となるように、バインドする前のFileMaker Proで作成した相談記録ツールも同時に配布した。広報としては、相談支援センター相談員のMLでの紹介、静岡がんセンターが主催し開催した「相談員ワークショップ」での紹介リーフレット配布、学会発表時のリーフレット配布などを行った。

D. 考察

相談記録を電子データでデータベース化することで、検索、ソート（並び替え）、データ抽出が容易となる。またテキストマイニングソフト(csv形式でエクスポートし

たファイルを加工し、使用)、Excel 等他ソフトにエクスポートし、そのデータを用いて、相談内容の分析、相談項目別件数の集計なども可能となる。以上により、業務の効率化・業務改善につなげるツールとして期待できる。

市販のデータベースは導入・維持費用がかさみ、独自のデータベース構築を外部に委託しても、同様である。そこで、今回はFileMaker Pro Advancedを用いて、データベースを設計構築し、そのうえで、市販のデータベースソフトウェアがなくとも動くランタイムソリューションに、データベースファイルをバインドした。その結果、フリーソフトウェアとして無料配布・入手できる環境を可能にした。

ツールを定めてデータを共有・集積することは、相談対応の質の向上、看護の実践向上に役立つと考える。

さらに、試用版の利用者の評価を得て、改善・改良を加え、直感的に操作でき、使いやすいソフトウェアをめざし、検討をすすめたい。

E. 結論

相談支援センターを始めとする相談窓口の担当者が利用でき、情報の共有化、検索の容易性、記録時間の短縮、収集・蓄積されたデータの再利用等を実現していくために、実用的な情報ツールを検討した。ツールの媒体としては、検索やソートも行え、修正更新も容易であることからデータベ